

インドネシア YWCA によるジャワ島中部地震被災者支援状況 (6月29日)



イン
ドネ
シア
YW
CA
は、
引



き続き他のエキュメニカルな団体と協力して、住宅や学校の整備、トラウマの治療、子どものためのセンター設置などの被災者支援を行っています。

特に子どものためのセンター、「バナア・セルダス」の設置はインドネシア YWCA のイニシアティブで次の3つの村で準備が進められています。教育に必要な物資の提供やアクティビティなどの子どものためのプログラムは今後1年に渡って実施される予定です。

Jonggrangan

ジャワから8kmのバントウール地区に位置します。一部の住宅地では98%の家屋が倒壊しました。200家族(うち子ども103人)がテントでの生活を強いられ、家族や親戚を失った子どももいます。

Sentulrejo

グヌン・キブル寄りのバントウール地区にある村です。この村ではおよそ90%の家屋が倒壊しました。この村の300家族(うち子ども94人)がテントでの生活を強いられています。

Geneng

クラテン地区にある村で、85%の家屋が倒壊しました。この村はもともと貧しい人々が多く暮らす村です。この村には67人の子どもがテントでの生活を強いられています。